



パワー全開 取るぞ勝利判決!

1月は 324 人の原告が 179 カ所で訴え、提出した署名は約7万筆



「3月の判決日には必ず勝利判決を」と、パワー全開の原告団。各団体の集会や機関会議での訴え、宣伝行動に加え、旗開きや「新春のつどい」などにも招かれ訴えを行いました。その数、1月だけで 179 カ所。のべ 324 人の原告が、署名の取り組みや支える会の会員拡大などへの協力を訴えました。どこに行っても暖かい言葉で励まされています。2月も引き続き頑張り、支援のお願いに出向いていきます。



いのちと健康を守る神奈川センターの新春のつどい(写真左)、及び郵産労の中央委員会(同右)で訴えをする原告

各争議団の裁判も傍聴し連帯を表明

原告団は、派遣労働者や非正規労働者をはじめ、無法にも解雇され闘っている方たちの裁判も傍聴し、相互支援で連帯を深めています。



写真は日産の「期間・派遣切り」裁判後の報告集会

東京地裁に提出した署名は約 7 万筆

2月 1 日の地裁行動で 1 万筆の署名を提出しました。これで提出した署名は累計で約 7 万筆となります。



JAL 不当解雇撤回国民共闘は「裁判所での署名」と「支える会の会員拡大」に全力をあげています。判決日まで、残された期間あと 1 カ月少々です。みなさんの協力を心から訴えます。